

第7回 海老江下水処理場改築更新事業の環境監視に係る有識者会議 議事録 要旨

日 時 令和5年5月31日 15時20分～17時00分

開催場所 建設局北部方面管理事務所 大会議室

出席者

(委員) 近藤委員(座長)、藤川委員(座長代理)、山田委員

(事務局：建設局) 大野課長、六車課長代理、西尾係長

中家係長

(事業者：海老江ウォーターリンク株式会社) 中村社長、秋山統括管理責任者

(事業者：大成建設株式会社) 中野作業所長

議 題 2022年度 工事中の環境監視結果について(資料5)

会議要旨(主な意見)

● 環境監視(常時監視)について

- ・騒音に関してNo.2が高い傾向にあるのは、付近で実施していた倉庫の工事や道路のはつり作業及び路盤撤去、車両の通行が影響していると考えられる。
- ・振動に関して日曜日や土曜日に低い値を示していることから、工事の影響で振動が生じていると考えられるが、管理値は超過していないことから、周りの人が不快になるほどの振動ではないと考えられる。

● 環境監視(定期監視)について

- ・環境基準の超過はないものの、ベンゼンは上昇トレンドにあるため、今後も継続的に大阪全体のトレンドと比較しながら注視することが望ましい。
- ・指針値の超過はないものの、8月に通常時の4倍ほどの水銀が計測されているため、もし今後もこのようなピークを示した場合には、周辺もモニタリングしながら確認することが望ましい。
- ・低周波音については2023年2月に北側でのみ高い値を示しているため、今後もトレンドを注視することが望ましい。
- ・来年度からは施設が稼働するため、これまでとは異なる計測項目や計測場所の検討も必要と考える。

以上